

事務事業名	国内姉妹都市交流事業		所属部局	総合政策部		単位番号	2006								
	☐ 実施計画事業		所属課室	政策推進課		課長名	大芝 久								
			所属担当	行政運営・統計担当		担当者名	相川 多喜男								
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目			
政 策		04	国際交流・地域間交流の推進		事業区分	01	一般	02	01	07	070	03			
施策		06	交流活動の推進			☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☒ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)										
	北海道津別町との交流(津別町物産展への訪問・本市のころあったか祭りでの受入れ)を行う。				項目(細節)				金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)		
	北海道の道東、津別町との交流は、市内にあった会社が津別町に工場を新設したことから交流が始まった。				旅費				236						
	津別町や南アルプス市のお祭りで特産品の販売を行い産業・文化を通じた交流が深まっている。				消耗品				74						
					通信運搬				115						
										計				425	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	北海道津別町と交流(津別町物産展への出店・本市ころあったか祭りでの出展依頼。)
25年度活動予定	北海道津別町と交流(津別町物産展への出店・本市ころあったか祭りでの出展依頼。)
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
	南アルプス市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
	物産交流展を開催する
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	交流が深まる

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 津別町への訪問者	人
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 南アルプス市民	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 開催回数	回
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 姉妹都市との交流活動に満足している市民の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	448	429	535	548				
	事業費計 (A)			千円	448	429	535	548	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数		人	3	3	3	3				
		延べ業務時間		時間	100	100	100	100				
		人件費計 (B)		千円	396	396	396	396	0	0	0	
		(A)+(B)			千円	844	825	931	944	0	0	0
活動指標		アイウ	人	3.0	3.0							
対象指標		アイウ	人	72,854.0	72,487.0							
成果指標		アイウ	回	1.0	1.0							
上位成果指標		アイ	%	21.6								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成6年10月16日、旧楡形町と友好都市提携を調印。津別町との交流は、市内にあった会社が津別町に工場を新設したことがきっかけとなる。平成16年10月17日、南アルプス市と姉妹都市協定を締結する
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	開始当時の交流事業は、子供や一般市民の募集を行い、相互の交流をふかされた。その後は津別町と本市のイベントの際に特産品の販売を行っている。また、職員人事交流を実施した。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成20年度・21年度は人事交流を実施。平成22年度・23年度は希望者なし。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	国内姉妹都市交流事業	所属部	総合政策部	所属課	政策推進課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 地域間交流の推進を図り、他の地域の人々との出会いや異なる文化、風土を体験し交流を深める。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 物産販売による知名度アピールと人事交流を合わせて実施しているため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 適切である ⇒【理由↓】 この事業を行うことにより、異文化・風土等の情報を知り、また、物産展等で食することによりより深い交流を行うことができるため、維持継続は必要であるが、物産展以外での交流活動を行なうことも検討する必要がある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 現在、政策推進課で参加しているが、広範囲から相互の交流に積極的に従事したい職員や市民を募り、津別との交流を深める。また、職員の交流が増える。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 津別夏まつり物産交流で本市の特産品を心待ちにしている ☐ 本市のころあったか祭りで市民が津別の物産を心待ちにしている。 人たちがいるため。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 参加職員はぎりぎりの人数であり、売り上げの中で仕入れの清算をしているため。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 国内交流が目的である。参加職員はぎりぎりの人数である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 伝票処理のみ

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	津別町との人事交流がH22・H23年度行われていないため、再開することにより大きな成果を得ることができる。物産展での交流を継続するのであれば、商工会や観光協会に事務を移譲することも必要と考えられる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☒ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
① 商工会、観光協会への業務移譲の検討 ② 交流人員の検討 ③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
① 八田支所で行なっている穴水町との交流活動もあり、総合的な業務の見直しが必要。 ② ③		<table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑤</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑨</td></tr></table>		成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																							
コスト削減優先度評価結果	⑨																							